

## アウトカム指標及び目標の効果検証（達成状況）（令和 6 年度）

令和 6 年度の経営支援の取組として、当協会の保証利用企業のうち、経営課題の解決や経営改善等に取り組む意欲のある企業に対して、外部専門家による経営診断を実施した。

定量的な効果検証としては、当該経営診断を実施した企業を対象に、CRD 評点の良化した企業の割合 60%以上（経営診断の実施前と実施から 3 年後の業績を比較、良化企業数÷経営診断実施企業数）を掲げたが、効果検証時期に達しておらず、令和 10 年度に検証予定である。

なお、参考として、経営診断の実施から 3 年が経過している平成 30 年度～令和 2 年度の 3 カ年実績について、以下のとおり検証した。

アウトカム指標：CRD 評点の良化した企業の割合

達 成 状 況：CRD 評点の良化した企業の割合 51% ≪目標値 60%≫

自 己 評 価：経営診断の実施後に半数以上の企業の CRD 評点が改善したが、目標値には達しなかった。これは、経営診断の実施から 3 年後の決算期がコロナ禍と重なっていたことが要因の一つと考えられる。  
目標達成のためには、経営診断の実施後に外部環境の大きな変化があった場合にも、企業が経営課題の解決や経営改善等を着実に実行できるよう、継続したフォローアップを実施する必要がある。